

## Infosys Topaz とインテル、ジェネレーティブ AI で 企業の成長と効率化を加速するために協業

エッジコンピューティング、コアコンピューティング、クラウドコンピューティングにまたがる AI ハードウェアおよびソフトウェアスタックに

オープンスタンダードを導入することで、協業の拡大を通じ AI の民主化を支援

**インド(ベンガロール) - 2024 年 4 月 10 日** : 次世代デジタル・サービスとコンサルティングの世界的リーダーである [インフォシス](#) (NSE、BSE、NYSE : INFY) と、コンピューティング・イノベーションの世界的リーダーである [インテル \(Intel\)](#) は本日、グローバル企業の AI ジャーニー加速を支援する戦略的協業を拡大したことを発表しました。この協業の一環として提供される先進的な人工知能 (AI) ソリューションは、設計上の責任を果たしながら、企業がコスト効率とパフォーマンスを重視するようになることを支援することを目的としています。

[インフォシスの Topaz](#) は、AI ファーストのサービス、ソリューション、プラットフォームのセットで、企業がジェネレーティブ AI テクノロジーを使ってビジネス価値を加速できるよう支援するもので、インテル® [Xeon® プロセッサ](#)、[インテル® Gaudi® アクセラレーター](#)、[インテル® Core™ Ultra プロセッサ](#)、ソフトウェア、次世代製品など、インテルベースのソリューションを採用し、顧客が AI をビジネスに統合し、AI の新たなガードレールに準拠できるようにします。

さらに、インフォシスは、インテルの AI トレーニング資産を活用し、インテルの製品ポートフォリオに関する従業員のスキルアップを図り、業界を超えた幅広いグローバルネットワークの顧客にジェネレーティブ AI の専門知識を提供していきます。

### **Please insert Nandan and Intel people photo**

インフォシスの会長ナダン・ニレカとインテルの上級副社長兼チーフ・コマーシャル・オフィサークリストフ・シェル氏

インフォシスのエグゼクティブ・バイス・プレジデント、AI およびインダストリー・バーティカルズ担当グローバル・サービス・ヘッドである [バラクリシュナ・D.R. \(バリ\)](#) は、「インフォシスは AI ファースト戦略を採用し、事業全体で大きなビジネス価値の解放を目指す顧客に高度な AI サービスを提供しています。Infosys Topaz の製品とソリューションは、インテルのコアスタックと『AI Everywhere』戦略をシームレスに補完します。両社の強

みを組み合わせることで、AI ファーストへの道を歩む企業を支援し、業界をリードする AI ソリューションでビジネス価値を加速させます」と述べています。

**インテル コーポレーション、エグゼクティブ・バイス・プレジデント兼チーフ・コマーシャル・オフィサーのクリストフ・シェル氏は**、「顧客と開発者は、競争力のある TCO と Time-to-Value の AI ソリューションを求めています。AI をあらゆる場所に導入するための当社のアプローチは、オープンな AI ソフトウェア・エコシステムをサポートし、Gen AI ユースケースへのインテル Xeon と Gaudi アクセラレーターの採用を加速することです。インフォシスや地元の ISV との協力は、インテルベースのテクノロジー採用を促進し、顧客の全体的な TCO を削減するのに役立つソフトウェアやツールを開発する上で、大きなチャンスだと考えています」と延べています。

### インテルについて

インテル (Nasdaq: INTC) は業界のリーダーであり、世界の進歩を可能にし、人々の生活を豊かにする、世界を変えるテクノロジーを創造しています。ムーアの法則にインスパイアされたインテルは、半導体の設計と製造の進歩に継続的に取り組み、お客様の最大の課題解決に貢献しています。クラウド、ネットワーク、エッジ、そしてあらゆる種類のコンピューティング・デバイスにインテリジェンスを組み込むことで、インテルはデータの可能性を解放し、ビジネスと社会をより良く変革します。インテルのイノベーションの詳細については、[newsroom.intel.com](https://newsroom.intel.com) および [intel.com](https://intel.com) をご覧ください。

### インフォシスについて

インフォシスは、次世代デジタルサービスとコンサルティングのグローバルリーダーです。30 万人以上の社員が、人間の可能性を増幅させ、人々、ビジネス、コミュニティのために次の機会を創造するために働いています。インフォシスは、56 カ国以上のお客様のデジタルトランスフォーメーションを支援しています。40 年以上にわたってグローバル企業のシステムと業務を管理してきた経験を生かし、クラウドと AI を活用したデジタルトランスフォーメーションを推進するクライアントの舵取りを専門的に行います。私たちは、AI ファーストのコアでお客様を支援し、アジャイル・デジタル・アット・スケールでビジネスを強化し、私たちのイノベーション・エコシステムからデジタル・スキル、専門知識、アイデアを移転することで、常時学習による継続的な改善を推進します。私たちは、多様な人材がインクルーシブな職場で活躍する、適切に管理され、環境的に持続可能な組織であることに深くコミットしています。

[www.infosys.com/jp/japan.html](https://www.infosys.com/jp/japan.html) を訪れて、Infosys (NSE、BSE、NYSE: INFY) があなたの企業が次に進むためにどのようにお手伝いできるかをご覧ください。

### セーフハーバー条項

本リリースに記載されている当社の将来の成長見通し、または将来の財務・業績に関する記述は、1995 年米国私募証券訴訟改革法 (Private Securities Litigation Reform Act of 1995) に基づく「セーフハーバー (免責条項)」の適用を目的とした将来見通しに関する記述であり、実際の結果や業績がかかる将来見通しに関する記述と大きく異なる可能性のある多くのリスクや不確実

性を含んでいます。これらの記述に関連するリスクと不確実性には、当社の事業戦略の実行、人材の獲得と維持能力、ハイブリッド・ワークモデルへの移行、経済の不確実性、ジェネレーティブ AI などの技術革新、移民規制の変更を含む複雑で進化する規制環境、当社の ESG ビジョン、当社の資本配分方針、当社の市場での地位、将来の事業、利益率、収益性、流動性、資本資源、買収を含む企業行動、サイバーセキュリティに関する期待に関するリスクと不確実性が含まれますが、これらに限定されるものではありません。実際の結果や業績が将来の見通しに関する記述に暗示されているものと異なる可能性がある重要な要素については、2023 年 3 月 31 日に終了した会計年度の年次報告書（Form 20-F）を含む、当社の米国証券取引委員会提出書類で詳しく説明されています。これらの提出書類は、[www.sec.gov](http://www.sec.gov)。Infosys は、証券取引委員会への提出書類や株主への報告書に記載された記述を含め、書面および口頭による将来の見通しに関する記述を随時追加する可能性があります。当社は、法律で義務付けられている場合を除き、当社によって、または当社を代表して随時行われる将来見通しに関する記述を更新する義務を負いません。

**お問い合わせ先：**

Infosys 東京オフィス 安藤

Email : [jo\\_ando@infosys.com](mailto:jo_ando@infosys.com)